CASBEE® 名古屋　評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2024年版、名古屋市建築物環境配慮制度届出書記載マニュアル2026　使用評価ソフト：CASBEE_Nagoya_2026(v1.0)

1-1 建物概要

建物名称	(仮称)昭和区阿由知通三丁目PJ 新築工事	階数	地上19F
建設地	愛知県名古屋市昭和区阿由知通三丁目10番3	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域・第一種住居地域、防火地域(路線防火)・準防火地域	平均居住人員	193 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2029年1月 予定	評価の実施日	2026年10月5日
敷地面積	1,123 ㎡	作成者	
建築面積	538 ㎡	確認日	2026年10月5日
延床面積	6,058 ㎡	確認者	

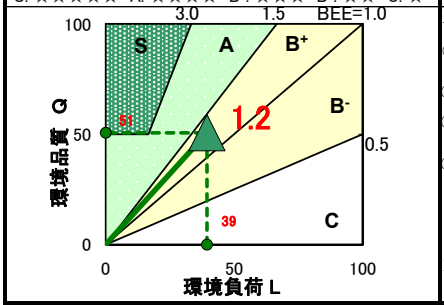
1-2 外観



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE =1.2

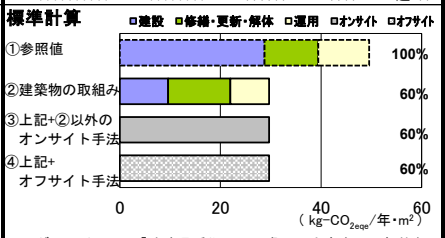
S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



2-2 ホールライフカーボン(温暖化影響チャート)

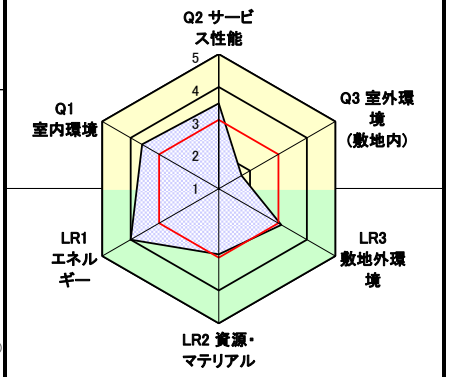


30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆



このグラフはLR3.1「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたWLC 排出量の目安で示したものです。④は参考として運用分をBEI＋で表示しています。

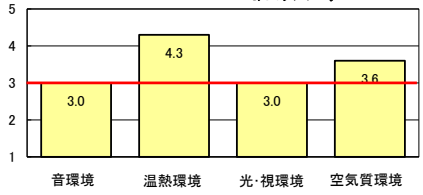
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



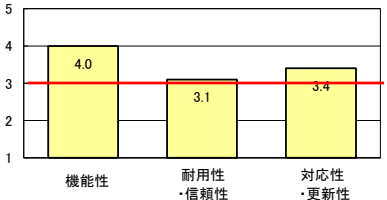
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質　　Q のスコア= 3.0

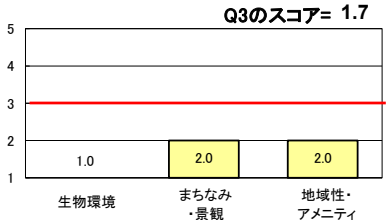
Q1 室内環境　Q1のスコア= 3.6



Q2 サービス性能　Q2のスコア= 3.5

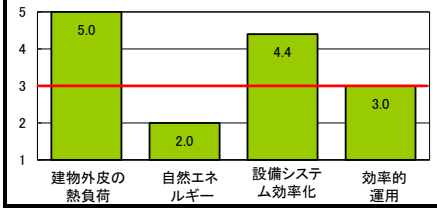


Q3 室外環境（敷地内）　Q3のスコア= 1.7

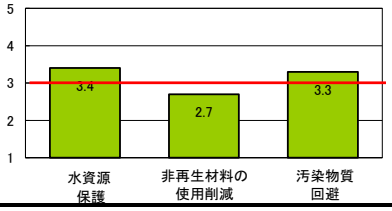


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.4

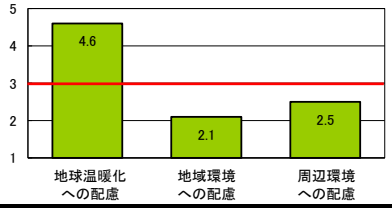
LR1 エネルギー　LR1のスコア= 4.0



LR2 資源・マテリアル　LR2のスコア= 2.9



LR3 敷地外環境　LR3のスコア= 3.1



3 設計上の配慮事項

総合	その他
高い外皮性能を計画し省エネルギーで快適な室内環境を整えられるように努めた。	特になし。

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境（敷地内）
日本住宅性能評価表示基準「5-1断熱性能等級」における等級6を満たす予定。 全面的にF☆☆☆☆建材の採用。	躯体の耐用年数として、日本住宅性能表示基準による劣化等級3を満たす予定。	植栽等による良好な景観形成。

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
日本住宅性能評価表示基準「5-1断熱性能等級」における等級6を満たす予定。	節湯水栓＋節水型便器の採用。	敷地内に駐車施設、駐輪施設を適切に確保。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE名古屋 評価結果

重点項目スコア・結果シート

(仮称)昭和区阿由知通三丁目PJ　新築工事

■使用評価マニュアル：　CASBEE-建築(新築)2024年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル

■評価ソフト：　CASBEE_Nagoya_2026(v1.0)

重点項目			評価	全体に対する重み係数	重点項目スコア
1. 温暖化対策					3.8
LR1	エネルギー		4.0	0.4	
LR3.1	地球温暖化への配慮		4.6	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善		1.0	0.05	
2. 自然共生					1.3
Q3.1	生物環境の保全と創出		1.0	0.09	
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	地域性のある材料の使用※1	無	0.009	
Q3.2	まちなみ・景観への配慮				
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.045	
3. 循環型社会					2.9
LR2.1	水資源保護		3.4	0.06	
LR2.2	非再生性資源の使用量削減		2.7	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制　※2		3.3	0.01875	

結果

1. 温暖化対策

評価点　＝ 3.8



2. 自然共生

評価点　＝ 1.3



3. 循環型社会

評価点　＝ 2.9



重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{\text{(評価点} \times \text{全体に対する重み)の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1　ここでは、Q3．3．1の評価する取組みのうち評価項目　I　2)地域性のある材料の使用　又は、Q3．2において評価する取組みのうち評価項目　4)地域性のある素材による良好な景観形成　のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3．3．1の全体に対する重みに0．2を乗じたものとしている。

※2　ここでは、LR3．2．3のうち、LR3．2．3．3　交通負荷抑制　を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3．2．3の評価点とは異なるものである。